



加藤健一事務所
vol.96

Be My Baby

いとしのベイビー

KEN LUDWIG'S
"BE MY BABY"



浜松北市民劇場 第207回例会

Be My Baby

いとしのベイベー

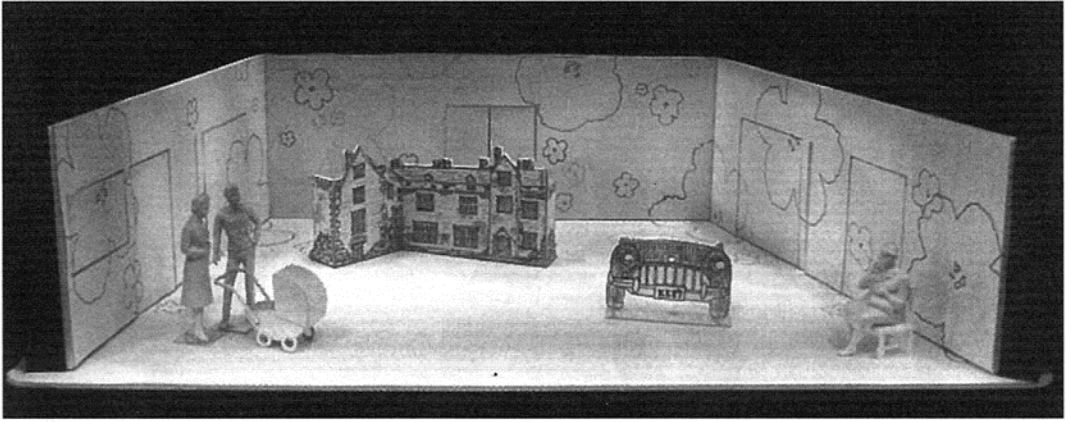
《地球を半周して、やっと手に入れた幸運とは?》

作:ケン・ラドウィック / 訳:小田島恒志、小田島則子 / 演出:鷗山仁

5月30日(火)夜 開演=18:30 / 終演予定=20:55

5月31日(水)昼 開演=13:30 / 終演予定=15:55

上演時間=計2時間25分(休憩15分を含む)



ようこそスコットケンワールドへ

イギリスの正式名称は『グレートブリテン及び北アイルランド連合王国』というかなり長い名称で、「イングランド」「スコットランド」「ウェールズ」「北アイルランド」という四つの非独立国で構成された連合王国です。

何世紀にも亘る長い戦争の歴史は、この芝居の舞台となる「イングランド」と「スコットランド」の間にも深い爪痕を残し、今もスコットランドの人々は自分達の事を『スコットランド人』と呼び、イギリス人とは言わないそうです。

同じ様な事は日本にも有り、私の大好きな沖縄のある離島の人々は私の事を「日本人」と呼び、自分達、島の人間とは一線を画しています。と言っても決してスコットランドとイングランドの様な事ではなく、単なる習慣的なものでしょうが。また沖縄県の中でもある島に行くと、沖縄本島の人々の事を「沖縄の人」と呼んで、自分の島の人間とは分けている様なのです。これもやはり歴史のなせる事かもしれません。

これは私の失敗談ですが八丈島に行った時、島の人から「どこから来たの?」と聞かれ「東京からです」と答えたら「ここも東京です」と言われ大いに赤面しました。頭では分かっているつもりでも亜熱帯の島に行ってしまうとつい……ね。

やい
加藤

CAST~人物相関図

ジョン・キャンベル
(加藤健一)
スコットランド人
お屋敷の支配人



犬猿の仲

モード・キンチ
(阿知波悟美)
誇り高いイングランド人
グロリアの育ての母

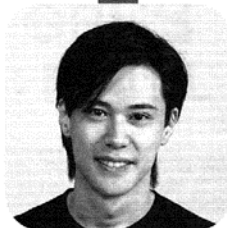


親代わり

叔母と姪



男性9役!!
(栗野史浩)
神出鬼没の変身
次はどこから??



クリスティ・マッコール
(加藤義宗)
貴族の御曹司
グロリアにトコトン甘い



グロリア・ナンス
(高畑こと美)
ロンドン育ちの19歳
クリスティに首っだけ



女性8役!!
(加藤忍)
キュートで華麗な
早変わりにご注目



ものがたり
一九六三年イギリス。スコットランドのクリスティの元へ、ロンドンから婚約者のグロリアがやって来た。この若い二人とは対照的に、クリスティの親代わりのジョン（加藤健一）とグロリアの叔母モード（阿知波悟美）は犬猿の仲で、顔を合わせると度々衝突ばかり。ところがある日、子供ができない若い夫婦の代わりに、ジョンとモードが二人きりで遠くサンフランシスコまで生後二週間の養子を引き取りに行く事になってしまう……

STAFF

美術：乗峯雅寛
照明：古宮俊昭
音響：松本 昭
衣裳：竹原典子
ヘアメイク：馮 啓孝
舞台監督：畑崎広一
高崎芳秀

